

# 全 宗 協

ZEN SHU KYO

## 全日本宗教用具協同組合の歩み

昭和12年(1937)	日本神仏具統制協会
昭和18年(1943)	(社)日本神仏具統制協会
昭和19年(1944)	全国神仏具統制組合
昭和22年(1947)	全国宗教用具商工業協同組合
昭和22年(1947)	宗教用具商工会
(昭和24年に中小企業等協同組合法が施行される)	
昭和26年(1951) 6月	(任)日本宗教用具協同組合
昭和28年(1953) 10月	(任)日本宗教用具懇話会
昭和54年(1979) 4月	(任)全日本宗教用具組合連合会
昭和62年(1987) 10月26日	全日本宗教用具協同組合の創立総会
昭和62年(1987) 11月 1日	認可申請
昭和63年(1988) 3月24日	(法)全日本宗教用具協同組合が設立認可される (設立認可時の組合員数は377人)
昭和63年(1988) 4月20日	設立登記(成立日)し、現在に至る



安田松慶理事長

# 平成二十年三月に全宗協設立二十年

### 時代に向けての「改革・革新」仕上げの好機 記念事業実施のため実行委員会設置構想も

全宗協は平成二十年(二〇〇八)三月に設立から二十年という大きな節目を迎える。

設立以来、仏壇仏具等宗教用具業界の発展と振興を目指して歴史を重ねてきているわけだが、設立二十年を前にし

て全宗協内では記念事業の話も出ており、そのための実行委員会をつくる計画が議題となってきた。

全宗協は、昭和六十三年(一九八八)三月二十四日に全日本宗教用具協同組合として通商産業省(現・経済産業省)から設立認可された。設立ま

でに至る歴史は別掲の通りだ。設立以来、「時代のニーズに合った組織への脱皮」を旗印に、業界発展に苦闘を重ねてきた。しかしながら設立時に三百七十七名を数えた組合員は減少

しつつ、一時は二百七十名まで落ち込むという苦境に立たされた。幸い平成十六年に「仏事コーディネーター資格制度」がスタートしたのを機に増強に転じ、今年三月には三百二十名まで復活した。

全宗協発足時の「三百七十七人」が見えてきた!

## 組合員の増強続き、四月には三百三十五人突破の見込み

### 本年三月で、「おためし会員制度」は終了

組合員の増強が続く、この三月末時点の組合員数は三百二十一人となった。四月には三百三十五人を突破の見込みとなっている。全宗協は発足

時の「三百七十七人回復」を悲願としているが、その悲願達成が視野に入ってきたといえそうだ。全宗協は昭和六十三年(一九八

八)三月二十四日に協同組合として設立認可された。その時点での組合員数は三百七十七人を数えていた。しかしその後、減少傾向が

話し合いが行われている。

全宗協はまさに「転機」といえる。この「改革・革新のとき」に入っているといえるわけであるが、安田理事長をはじめとする全宗協の役員・組合員の間には、「設立二十年という節目の年を改革・革新の仕上げの好機としたい」との決意がみなぎっている。

### 紙面から

2面	そよ風、春の全国研修会
3面	委員会から
4面	5月に通常総会、新規加入組合員
5面	ひろば
6面	わが社のイチオシ 新商品紹介
7面	頑張ってます(地区協からの報告)
8面	地区協議会の開催状況

長く続き、一時は二百七十人まで落ち込んだ。全宗協はこれに歯止めをかけようと、会員増強委員会（保志正之委員長）を中心に「発足の三百七十七人回復」を旗印にかかげて組合員増強に全力をあげてきた。

その一つの方途として、入会手続きの簡略化」に踏み切り、さらに賛

助会員（おためし会員）制度を導入し、組合加入への呼び込みを図ってきた。おためし会員制度は三月で終了したが、おためし会員から正組合員に切り替わった人たちが多く出たことも、増強の一つの要因となった。

最も大きな要因となったのは、平成十六年にスタートした「仏事

コーディネート資格制度」だ。制度の発足がメリットのある組織として映り、同時に、組合員でなければ受験資格が得られないこともあって、組合への加入者が急速に増加した。

組合員が増えたことで、理事定数は一名増の四十七名（四月一日付）となることとなった。

## そよ風

### 女性脳的価値観の時代へ

株式会社小堀  
取締役 小堀幸子



小堀幸子さん

どうも全く違う生き物らしい男性と女性は。今や私たちは、ヒトゲノムに書かれたすべての塩基配列を知ることができ、遺伝子の解析も進んできています。画像技術の進歩で生きている人の脳を覗きこめるようにもなり、男性脳と女性脳の解剖学的な違いだけでなく、化学反応や機能にも違いがあることがわかってきた。ここでは遺伝子やホルモンや脳のメカニズムを詳しく解説できないが、命を連鎖していくために実によく男女は補い合っている。

一方、男性脳は集中型・直列型で、言語中枢のある左脳を使って会話をすることから、対話というより伝達言語、目的のある会話に意義を感じるようだ。

規程性の理解、コントロールする力、集中力、空間認識力などは子孫、つまり自分の遺伝子を守るために獲物を追い、戦うために都合のいい脳と考えられる。リスクを恐れないパワーは人類に大きな貢献もしてきた。しかしこれからは、地球的規模の食料、資源、水、環境などの問題が次々突きつけられ、個人化してゆく社会や、継承しない家庭、男女のあり方も変容してゆくに違いない。

他の命の犠牲の上に成り立っている存在であることを感謝し祈り、自然の恵みを受け取りながら命を育てる農的価値と、共生と分かち合いが入れされた女性脳的価値が、持続可能な地球には何よりも大切だと私には思われる。

女性の活躍は、男性にとっても「楽で得」なのだ。

## 東京の浅草寺で春の全国研修会

### 廻遊式庭園や絵馬堂などを見学



絵馬堂を見学。巨大な絵馬に少なからずびっくり

春の全国研修会が二月二十二日、東京・浅草の浅草寺（聖観音宗総本山）で行われ、七十名の組合員が参加した。

一行は本堂でご祈祷を受けた後、スリランカの国立寺院から仏舎利を勧請して建立された五重塔、さらに日頃はなかなか目に出来ない絵馬堂内部、そして本坊「伝法院」の小堀遠州作といわれる廻遊式庭園などを見学した。中でも五重塔の大きさ、歴史的に貴重かつ巨大な絵馬の数々には誰もが食い入るようだった。

研修会に先立ち、同寺会議室で事業委員会など四つの委員会、それに続いて役員会が開かれた。この中では、「青年部・女性部の創設」に向けての今後の進め方や会報の改革



本坊「伝法院」の廻遊式庭園を散策



研修会が終わった後、会場を移して懇親会。情報交換に花が咲いた



広大な五重塔に見入る



五重塔をバックに記念撮影

# 春の高岡へお越しくささい

サカエ金襴株式会社  
代表取締役社長 竹澤恵子



竹澤恵子さん

「薫り高き岡、高岡」 高岡のホームページを開きますと、このような説明で高岡のPR文が始まります。「なるほど……」と、自分が生活している「高岡」という街を改めて見つめ直してみようと思えました。

加賀藩二代藩主の前田利長公は、北には山と海、豊かな平野を悠々と流れていく「閑野」と呼ばれた高台に城を築き、「高岡」と名付けました。

利長公はこの地で晩年を送り、その生涯を閉じ、三代藩主利常公は利長公の意を引き継ぎ、この高岡の地を商都として育て上げたのです。

商都といえば、高岡には地場産業として高岡銅器や高岡漆器などがあり、「ご存知のとおり、仏具が大変にメジャーであります。このような仏具が盛んな土地柄だからこそ、私もサカエ金襴も仏具装飾品を製造する会社として現在存在している理由の一つだとも再認識します。

北陸といえは、どうしても今

年の大雪のイメージがあり、日本海地方は寒く厳しい雪国という印象があるかもしれませんが、その厳しい冬が明けると、高岡古城公園の桜も満開になり、沢山の花見客で賑わいます。壮大な伽藍配置様式を誇り、国宝にも指定されている高岡瑞龍寺、万葉集にも詠まれた国定公園雨晴海岸、さらには万葉集に詠まれた神の山と呼ばれる国定公園二上山……。紹介しきれないほどの沢山の美しい郷土の誇りが私たちの身の回りにあることを、日々の疲れの中で忘れてかけているのは、本当に「もったいない」話です。

高岡は、三年後の二〇〇九年（平成二十一年）には『高岡開町四百周年』を迎えます。前田利長公が一六〇九年（慶長十四年）に高岡城に入城、そして高岡の町を開いてから四百年。記念すべき節目の年には、きつと想像以上に高岡は活気づくでしょう。また、そのようになるべきだと期待しています。

「自立した地方自治改革のチャンスだ」と、新聞やテレビで「市町村合併」「協働事業」といった話として連日のように取り上げられております。私個人としては、市民の声が自治政治に直接反映するようなシステムができるのであれば、「自立した地方自治体」は大変期待できるものだと感じております。

「自立した地方自治」と、地方自治の発展をめぐる論議が急速に高まっております。国の財政難から地方自治体の自立が叫ばれ、「その自立こそが地方自治改革のチャンスだ」と、新聞やテレビで「市町村合併」「協働事業」といった話として連日のように取り上げられております。

私個人としては、市民の声が自治政治に直接反映するようなシステムができるのであれば、「自立した地方自治体」は大変期待できるものだと感じております。

しかし、理論ばかりが大きな声で振りかざされているご時世で、情報が先走り、仕事や時間に追われ、何よりも身近にある素晴らしい郷土の香りを、じっくりと感じたことの無いことに気がつきません。

当たり前前の景色を心穏やかに感じる事が本場の「自治愛」で、その心が「市民協働」や「自立した地方自治」の確立につながるのだと思います。こうちくはともあれ、「あんたらつちや、高岡に一回遊びに来られ。いい所やよ」（皆さん、高岡に一度遊びに来て下さい。良い所ですよ）

などが話し合われ、「青年部・女性部の創設」に関しては、まず各組合員の声を聞くことという事でアンケート調査をすることが決まった。



浅草寺の五重塔

## 2月22日の委員会から



委員会では熱の入って議論が続いた。手前は広報委員会、向こうは総務委員会

東京・浅草の浅草寺で二月二十二日に開催された春の全国研修会に先立って、同寺で開かれた委員会では様々な意見が出された。委員会の様子は「東京の浅草寺で春の全国研修会」の項で少し触れているが、その議論の中身をもう少し具体的に報告する。

（総務委員会）  
青年部・女性部の創設について議論された。青年部については後継者育成の観点から入り、年齢制限についてフリーあるいは五十歳未満などの意見が出た。

女性部については、経営者に限るが、女性経営者のパートナーにも参加してもらったかの議論があった。

両部の創立には異論はないが、その準備として、まず事務局から各組合員にアンケートを出し、回収後に各地区協議会レベルの加入策を考えていく方向をとることになった。

（広報委員会）  
委員会としては仏教離れに対する啓蒙活動を軸にして、全宗協のPR等の活動を進めてきた。リーフレット、ポスター、シールの作成しかりである。

現在、年三回発行されている会報については、広報媒体の一つとして考えてみたいが、組合員以外の誰もがアプローチできるホームページの充実こそ先決との意見も出た。

（会員増強委員会）

会員増が続いているが、要因は仏事コーディネーター資格制度と賛助会員（おためし会員）制度が大きい。これからも組合員各位のより一層のリクルート（求人）が大事であり、同時に仏事コーディネーター制度をテコに新規加入の「掘り起こし」に努めていきたい。なお、おためし会員制度はこの三月で終了する。

# 「新しい時代への再出発」強くアピールへ

神戸で五月十七日に第十九回通常総会

## 総会当日に夫人対象の市内めぐりツアーも

第十九回となる通常総会は、五月十七日に神戸市の「神戸ポートピアホテル」(神戸市中央区港島中町)で開かれる。神戸市での通常総会は初めてだ。総会では平成十八年度事業計画などのほかに役員改選も行われることになっている。昨年、政策提言委員から出された

答申に基づき、「青年部・女性部の創設」「仏壇フォーラムの開催」といった事業化が検討されている中での総会であり、新しい時代に向けての「再出発」を強くアピールすることとなる。

会場となる「神戸ポートピアホテル」は、港内につくられたポートアイランドにある。本館と南館があり、本館は三十一階、南館は十六階。海に囲まれ、異国情緒あふれる神戸のパノラマが楽しめる。JR三宮駅からシャトルバスで十五分ほどだ。

阪奈兵和地区での通常総会は、昨年四月に起きたJR福知山線の快速電車脱線事故で、地区協議会長だった武部謙治氏が亡くなったことで、一時、開催が危惧されたが、「武部氏の遺志を大事にしたい」という地区協議会の熱意で、神戸市での開催が決まった。阪奈兵和地区協議会(片山昭夫会長)では、佐倉弘氏が実行委員長

として準備を進めている。二日目は親睦ゴルフコンペとオブシヨナルツアーが行われる。親睦ゴルフコンペは六甲国際ゴルフ倶楽部(神戸市北区山田町)で朝八時四十九分スタート。五組二十人の予定人員になり次第、締め切る。参加費は一人一万円(プレイ費等は各自精算)。コンペ終了後には表彰式がある。

として準備を進

めている。

二日目は親睦ゴルフコンペとオブシヨナルツアーが行われる。

親睦ゴルフコ

ンペは六甲国際ゴルフ倶楽部(神戸市北区山田町)で朝八時四十九分スタート。五組二十人の予定人員になり次第、締め切る。参加費は一人一万円(プレイ費等は各自精算)。コンペ終了後には表彰式がある。

オブシヨナルツアーは午前十一時にホテルを出発、中華料理の昼食と明石海峡周遊クルーズを楽しみ、午後二時半頃に新神戸駅着の予定となっている。二十五名の予定人員になり次第、締め切る。参加費は一人一万円(昼食付き)。

この親睦ゴルフコンペとオブシヨナルツアーとは別個に、新しい試みとして、総会当日の十七日には神戸市内をめぐるツアーもある。夫人同伴で総会に参加した人たちのご夫人を対象としている。午前十一時に出発、北野異人館街や南京町を散策する。定員は十六人。参加費は一人九千五百円(昼食付き)。



神戸市のタウンマップ

### 全宗協初の海外研修に28人参加

## 4月17日～21日、カンボジア・ベトナムコース 仏壇製造工場視察やアンコールワット観光

カンボジア・ベトナムコースで4月17日～21日に行われる全宗協初の海外研修の参加者は28人となった。

今回の海外研修は昨年11月の役員会で実施が決定された。成田空港発の「成田組」と関西空港発の「関西組」の2グループに分かれて別便で出発し、ホーチミン市で合流する。

参加者は成田組と関西組を合わせて28人となった。一行は4月17日に出発(成田組は午前10:30分、関西組は同11時15分)し、20日夜にホーチミンを発ち(成田組は午後11時40分、関西組は同11時30分)、機内で一泊して21日早朝に成田空港、関西空港に帰国する。ホーチミン市では全宗協組合員が経営する仏壇製造工場を視察、カンボジアでは世界遺産となっているアンコールワット観光や東南アジア最大の湖であるトレンサップ湖遊覧などを楽しむ。

海外研修の団長は全宗協事業委員会の小堀賢一委員長がつとめる。コース設定など全般に関わってきた事業委員会の池田典明副委員長は、「私も参加しますが、世界に目を向けて視野を広め、そして組合員の皆さん方と親睦を深めるうえで格好の機会だと思っています。無事な旅であることを祈るとともに、実りある旅行になってほしいと願っています」と話している。



団長をつとめる  
小堀賢一氏



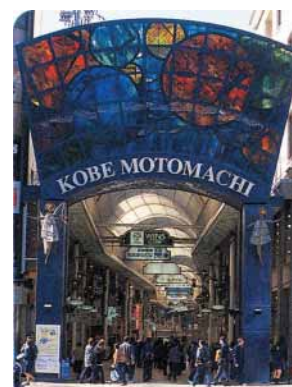
事業委員会の  
池田典明副委員長

### 新規加入(4月1日付)の組合員の皆さん

氏名	所属	住所	人数
二木博之	(株)ふたきや	埼玉県秩父市中宮地町25	22
依岡敏治	(株)よりおか	高知県宿毛市平田町戸内6280	11
鈴木義人	(有)迦葉	静岡県浜松市立野町131	2
進藤廣二	(有)進藤神具店	福岡市博多区上川端町12	186
藤瀬 剛	(有)安心堂仏壇店	宮崎市橋通西2	4 16
弦牧哲雄	多宝堂	大阪市天王寺区逢阪1	3 11
津崎正幸	(株)津崎商店	大阪市阿倍野区文の里4	19 2
宮崎 肇	(株)宮崎	千葉県香取郡小見川町油田824	1
丸屋輝夫	(株)丸屋佛壇店	北海道苫小牧市双葉町3	10 8
渡部光二	(有)小柳仏壇店	北海道北見市本町5	2 8
中崎かほる	(有)佛光堂中崎佛壇店	青森市本町2	6 11
大澤静可	(株)メモリアルアートの大野屋	東京都豊島区高田3	13 2
荒川隆雄	荒川堂	栃木県鹿沼市茂呂2595	2
市川幸男	ぶつだんの天照堂	大阪府富田林市甲田1	9 1
深谷 充	(有)深谷仏具店	静岡県袋井市高尾町9	14



神戸ポートピアホテルからの夜景



神戸元町商店街



神戸空港

## 今年は十一月十五日又は十六日に仏事コーデイネーター試験

平成十八年度の仏事コーデイネーター試験は、今年十一月十五日ないし十六日のいずれかの日に実施する方向で検討されている。

今年の仏事コーデイネーター試験は第三回にあたる。試験会場は昨年と同様に東京と大阪を基本として考えられているが、受験者が多い場合は、東京・大阪以外

でも実施してはどうかとの声も出ている。今年の試験の受験受付は、五月十七日に神戸市で開かれる第十九回通常総会から開始する。

なお、昨年十一月に行われた第二回試験では、東京と大阪会場合わせて三百三十二名が受験し、うち三百二十二名が合格した。

私も古希を迎え、仕事も現役をはずれ、後続へとバトンを渡しつつあるところだが、事業環境はというと、世の中パブルがはじけ、成熟、物あまり、二十一世紀は心の時代といわれながらも、青少年の非行、犯罪、大人が子供を、子が親を殺す。物騒な世の中になってしまった。神も仏もない人間不信の時代に入ったようだ。「賢沢と過度の文明は人間をスポイルする」とはよく言ったものだ。

かつて法隆寺管長の高田好胤さんが、日本は、「物で栄えて心で滅ぶ」と警鐘を鳴らされておられたが、今やその様相を呈してきたようだ。作家の五木寛之さんは、ここ数年、年間自殺者三万人の記録更新(阪神淡路大震災が年六回起きていることと同じこと)を憂い、京セラの稲森和夫さんは、「何のために生きるのか」と、日本人が失いかけている心を憂いておられる。手前ごとで恐縮だが、四十数年前、私が今の仕事をやり始めた頃が思い出される。見習いとして親父の出張について行ったことがある。仏壇屋さんを回りながら、そばで話を聞いていると、息子さんが大学に

行って店を継がないという。それもそのはず、当時は、仏壇は控え目で宣伝もなければ、今日のような業界等ともも言えるものではなく、その子どもですら学校友達に自分の家の職業を恥ずかしくていえない有様だった。(地方によるかもしれないが)うちの親父もやはり先代から説得され、この道に入ったものだから、この商売の尊さ、誇りをおこがましくも説きながら、回

## ひろば

### 日本文化を子孫に伝承する

保志卸センター代表取締役会長 保志 正之



保志正之氏

いてであった。そんな忙しい分刻みの中でも、田舎なもののだから配達先では、わざわざ自分の庭の池の鯉を料理してお膳をつくって待っていてくださった家が多かった。申し訳ないが、とても時間がなくご馳走になれず、丁寧に辞退せざるを得なかったが、それ程、仏壇を家に設置することは、大慶事だった。そんな時代が懐かしく感じられる。

つていたことを私の心にしっかりとインプットされた。間もなく日本も戦後復興がなり、「衣食足りて礼節を知る」仏壇ブームが起きる。

お盆が近くなると、深夜まで明日の出荷用の荷箱づくり。一枚一枚、製材した板材で木箱を組むのだから大変だ。いよいよお盆を迎える直前は、仏壇の配達が朝から深夜まで、食事をとる間もない壮絶(?)な戦

今、わが業界もこたぶんにもれず衰退期に入り、栄枯盛衰、万物流転は世の習いとの思いをしている。

その理由は、普及率、小型化、海外等の影響ではあるが、しかしこれらは物理的なものだから対策可能だが、最も難しいのが信仰心が薄らぎつつあることではないか。

物が足りてくると心が貧しくなる。神仏を敬ぶ心が薄くなる。人間不信にも繋がる。

「仏をだます、人をだます」の人としての根本的な心が乱れていることではないだろうか。

私は、仏壇屋の息子さんの結婚式の祝辞は、「もし、この地域に青少年の犯罪が起きた時には貴方達の責任ですよ。仏壇をたくさん売って社会貢献してください」と、おこがましいが、励ますことにしています。

今さらではないが、仏壇は日本の繁栄と平和の秘密兵器、日本伝統文化のエキスが集約されたものである。この新しい時代の出発の時、しかし世の中が心の病におかされ混沌としている。世の皆が本当の心の時代を渴望しているのではないか。

業界の衰退期からこの時代の転換とともに再び黎明期へと進めて行くには、先ずは自分を含めて業界一人ひとりが、改めてこの職業の尊さと誇りを再認識し、次代へ継いでいく。何百年もかかって築かれた伝統文化ではあるが、幸いこの新しい情報化社会では数十年で再生復興するのは可能ではないだろうか。

この最高の「日本文化を子孫に伝承する」を一人密かに願い、祈り続けている今日この頃である。



### 最高級唐木仏壇

「国宝シリーズ【法隆寺 夢殿】」

徳島県板野郡北島町北村字鍋井3-9  
森正(株)

(電話088 698 3003)

国宝シリーズは日本を代表する国宝をモチーフに、日本人の根底に流れる美意識を具現化しようという画期的シリーズです。国宝のように永く受け継がれる家宝としてのお仏壇として好評をいただいております。20号で2,079,000円

### かたり箱

富山高岡市問屋町151

(株)笠原昇雲堂

(電話0766 21 1858)

かたり箱は、本当に大切だった人との心の交流、語り合えるお祈りの場としてうまれたものです。悠久の時と心のそこからの安らぎ、癒しを私達に与えて下さいます。高さ約26cm、幅約22cm、奥行約16cm。2005グッドデザイン賞・特別賞受賞。税抜きで24万~26万円



### ゲルマニウム入り腕輪念珠

大阪市天王寺区東高津町6 13

(株)山田念珠堂

(電話06 6768 1815)

本来は金属であるゲルマニウムを樹脂成分の中に含め水晶と合わせ念珠にしました。軽くて使い良くなっています。箱入りは税別で10,000円



### 二種桐箱入のきば

京都市中京区烏丸通二条上ル東側  
(株)松栄堂

(電話075 212 5588)

人気の京線香シリーズの中でもファンの多いのきばのお線香に、絵口ウソクなどを桐箱仕立てにした進物用セットです。のきば単寸小箱4箱詰・絵口ウソク2本・灯火(口ウソク10本入り)で価格は税別3,000円



### 時計付ワンタッチ香合

京都市下京区堀川通五条下る佐女牛井町140

(株)京念珠刑部

(電話075-351-5310)

クルミ材でできています。一枚のクルミ材を使っているため身と蓋の目は揃っていますので、すっきりとした美しい仕上がりです。記念品として贈答用にも喜ばれています。価格は5.5cmサイズ7,000円、7.5cm10,000円。いずれも税込み

### お線香「青雲アモーレ」

東京都中央区銀座4 9 1

(株)日本香堂

(電話03 3541 3401)

こだわりの香原料。パッケージデザインは、イタリアの世界的建築家でデザイナーのイタロ・ルビ。「青雲アモーレ」はほんものの香りをもって愛を語り続けるお線香です。バラ詰め2,000円、40本入りサック300円。いずれも税抜き。箱入りは税別で10,000円



## 事務局からのお知らせ

会報の内容を今回から「組合員総参加型」「お店の経営に役立つ紙面」に改めると同時に、全面カラー化に踏み切りました。新商品紹介、女性コーナーなどへの皆様の積極的な寄稿をお待ちしております。今後は短歌・俳句、川柳、写真などのコーナーも設ける計画でいます。全宗協ホームページをグレードアップします。従来の内容に一般消費者向けコンテンツを追加します。

業態調査(17年11月実施)へのご協力ありがとうございました。集計結果は次の通りです。

### 組合員の主な業態

製造業	57 (17%)
卸売業	41 (12%)
小売業	217 (65%)
回答なし	20 (6%)

この業態は、現在作成中の新しい名簿に個々に登載いたします。

「日々感謝」のポスターを、お一人100枚まで無料で差し上げます。数量に限りがありますのでお早めどうぞ。送料はご負担願います。

市町村合併に伴い、住所変更があった方はお知らせください。また、社名等の誤字、電話・FAXの確認も再度お願いします。新年度の名簿を作成中です。

経済産業省等から組合員の皆様へ周知依頼がありました。

(A)「グリーン物流パートナーシップ会議」への参加

17年2月の「京都議定書」批准及び本年4月の「省エネ法」改正を受けて、荷主企業と物流事業者が協働して環境対策(特にCO<sub>2</sub>削減)の自主的取り組みを促進するもの。会員制でメンバー登録が必要です。

(B)「省エネ法」改正(18年4月1日施行)

地球温暖化防止、世界的なエネルギー需要の逼迫等を受けて、エネルギー使用の合理化を進めるため、指定工場・事業所に係るエネルギー消費等報告 指定荷主に係わる輸送量報告などを義務付けるもの。

(C) その他

- (a) 金融機関等詐称詐欺の注意喚起(知事)
- (b) 電気用品安全法における旧法(電気用品取締法)表示商品の販売猶予期間について
- (c) 「高齢者雇用安定法」改正(全国中央会)

## 頑張ってます



中堂園福丸氏

九州地区では、拡大委員会を含めて地区協議会を毎年四回程度開いています。

地区の特徴として、日本宗教用具九州連合会(九宗連、吉川礼蔵会長)と常時連携しながら、会や事業を進めていることがあげられると思います。

### 九州地区からの報告

九州地区協議会会長 中堂園福丸

九州の各事業所には、古くから優秀な職人さんが揃っています。特に北部では寺院仏具の製作が盛んですが、これらは優秀な職人さんに負うところが大きいのです。また家庭用仏壇など国の伝統的工芸品としての指定を受けている八女福島仏壇や川辺仏壇が急速に発展し、現在も全国に向けて盛んに出荷されています。地区内には業界唯一の上場企業もあります。九州地区協議会の母体ともいえる九宗連は、三十年以上の歴史があり、毎年、各地区持ち回りで総会を開いています。

活動は多岐にわたる、ポスター、しおり、広告がき等を作成し、広く配布するとともに、品質表示ステッカー貼付けも強力に推進しております。全宗協を通しての情報収集も意欲的です。懇親会やゴルフコンペも和気あいあいの中でよく行っており、情報交換に役立っています。

今後の両者の役割分担としては、事業は全宗協、懇親会やゴルフコンペは九宗連とすることとし、三月二十四日の地区総会に諮り、決定しました。

九州地区は今後もこの友誼団体とより一層の連携を深めつつ、地についた活動を積極的に展開していくことにしています。



## 春の全国研修会から



# 地区協議会の開催状況

## 九州地区協議会

- (18年1月18日、福岡市で)
- 3月24日の地区総会について
    - 全宗協役員改選
    - 九宗連からの会計分離
    - 九宗連との連携
    - 全国研修会、総会、役員会への参加を促すための旅費助成
  - その他
  - 懇親会

## 北海道東北地区協議会

- 18年2月7日（仙台市で）
- 講演会。講師・住田孝太郎「業界の再生と消費者の信頼確立」
  - 連絡事項
    - 11月15日に仏事コーディネーター試験
    - 2月22日に春の全国研修会
    - 4月17日～21日の海外研修
    - 5月17日の神戸での通常総会
  - 役員改選について
  - その他
    - パッタ屋の横行
    - 素材表示
    - おためし会員切り替え
    - 仏壇コンテスト (BBI)
    - 寺院との提携
    - 家具調の現状

## 東海地区協議会

- 18年2月15日、名古屋市で)
- 総会
    - 事業報告及び会計報告
    - 会員増強のあり方 (〇×式と地区役員の同意併用)
    - 役員改選
    - 5月17日の通常総会
  - 研修会
 

講師・相羽氏 (成功への道しるべ)
  - 本部事業 (研修会・委員会) への積極的参加
  - 懇親会

## 阪奈兵和地区協議会

- (18年2月3日と3月11日、大阪市で)
- 5月17日の通常総会に向けて
    - 当日の段取り
    - 講演会の講師
    - 役割分担
    - その他
  - 理事改選について
  - 懇親会

## 訃報

地区名	逝去日	組合員	逝去者
阪奈兵和地区	17年10月7日	仏具のサロンナーム	ご母堂小系様 享年95歳
東海地区	18年2月13日	株ぬし与仏壇店	ご母堂まつ子様 享年87歳

## 編集後記

全宗協の会報は、春の全国研修会、五月の通常総会、秋の全国研修会の時点をとらえて、年三回発行されている。今回の発行号から全面カラー刷りとなった。ご覧になっての感想はいかがなものだろうか。従来のモノクロ版に比べて、様変わり”の感がある紙面を見て、「読んでみよう」とより積極的な気持ちになっていただければ幸いです。

カラー化に踏み切った理由は、ひとことでは言い尽さず、会報をもっと組合員の身近なものにしていこうということに尽きる。会報は全宗協が目指している方向を知ってもらう上で極めて大事な存在だ。言うならば、全宗協という全国組織と組合員を結びつける橋渡しの役を担っている。

ところが残念なことに、組合員からは「時々しか読まない」「あまり読んだことがない」という声を聞く。なぜなのだろうと考えるが、「手にとってみよう」という「魅力」に欠けているのかもしれない。「見た目に美しく素敵」というビジュアル（視覚）的なセンスが要求される時代である。会報もビジュアル時代に合ったものであっていい。カラー化の理由には、そう考えたこともあった。

しかし、色刷りしただけで「事足り」ではない。問題は紙面の内容だ。紙面はご覧の通り、新商品の紹介や女性のコーナーの新設など、構成を大きく変えた。こうした構成にしたねらいは二つある。ひとつは「組合員総参加型の紙面づくり」をしようということであり、もうひとつは「お店の経営に役立つ紙面づくり」である。短歌・俳句欄を設けることも考えている。

仏壇仏具業界は、荒波の時代”の中にある。どう乗り切っていくか。経営者は、誰もが自店活性化の知恵を欲しがっている。会報がその一助になれば、ということから、役に立つ紙面づくりの発想は生まれた。「組合員総参加」は、ことさらに説明はいるまい。これからは皆さんのお店に、「会報用に寄稿をよろしく」というお願い電話が、事務局からいくつも来ない。

全宗協は平成二十年三月に創立二十年を迎える。大きな節目の年となるわけだが、その時にあたって全宗協では、「青年部・女性部の創設」「仏壇マイスター制度の創設」「仏壇コンテストの開催」などの事業化が検討されている。安田理事長のいうように、全宗協はまさに「革新のとき」に入っている。会報もまた、革新の時なのである。